

第106回昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会議事録

日 時：2026年7月30日（木）17時03分～18時47分

場 所：大学1号館 6階会議室（Web会議にて開催）

委 員：松山高明、渡井 有、内田直樹、田中邦哉、嶋田 颯、古屋純一、小林真一、山口 淳、平沼直人、宮島明紀、松浪京子

事務局：岩根裕之、本橋千夏、灰谷紗織、桑原理恵、齊藤史絵

欠 席：緒方浩頭、宮崎拓郎、富田真佐子、西脇怜史、原田史穂子

※渡井委員、田中委員、古屋委員は【1. 審議事項】1) 定例審査②で途中退席

【1. 審議事項】

1) 定例審査

①受付番号：20260521-227（新規申請）

研究責任者：スポーツ運動科学研究所 講師 阿蘇 卓也

研究課題名：肩甲骨へのキネシオロジーテープ貼付は投球近似肢位での肩甲骨動態を変化させるのか？

審査結果：承認

②受付番号：20260616-174（新規申請）

研究責任者：藤が丘病院 循環器内科 講師 大西 克実

研究課題名：心房細動アブレーションにおける右房内でのシースフラッシュの有効性の検討

審査結果：承認

2) 定期報告

事務局より定期報告のリスト（資料3-1）をもとに172件の研究について説明がなされ、審査の結果、172件の臨床研究の継続が承認された。

また、2026年7月27日現在の定期報告の提出状況（資料3-2）について、未提出はない旨があわせて報告された。

定期報告書（資料3-1概要）

研究継続の審査結果				
審査件数	承認	継続審査	変更	研究中止
172件	172件	0件	0件	0件

定期報告提出状況（資料3-2抜粋）

		全件	未提出	提出済	終了
期限超え	2026年4月分	133	0	118	15
2ヶ月経過	5月分	159	9	142	8
1ヶ月経過	6月分	136	24	110	2
提出月	7月分	135	65	70	0

【2. 報告事項】

1) 第105回議事録について

資料4のとおり、第105回議事録について承認された旨の報告がなされた。

2) 利益相反委員会からの報告について

資料5のとおり、2026年6月の利益相反委員会の審査状況について報告がなされた。

3) 症例報告について

資料6のとおり、症例報告について報告がなされた。

4) 迅速審査 結果一覧について

資料7のとおり、迅速審査結果一覧について報告がなされた。

利益相反委員会の承認番号および倫理審査委員会の受付番号を「倫理審査委員会の承認番号」と誤認し、承認前に解析・論文投稿を行った後方視的研究について、すでに論文が取り下げられ顛末書が提出されたことから、迅速審査にて対応したことが報告された。

5) 終了報告提出一覧について

資料8-1のとおり、2026年6月18日から7月23日に受理された終了報告書について35件の報告がなされた。

また、資料8-2のとおり、2026年7月21日現在、提出期限を経過した2026年3月終了分までの研究のうち、未提出は2026年3月終了分の2件であった。当該研究については、学外研究代表機関による中央一括審査が継続中であるため、現時点では本学に審査資料等が提供されておらず、本学において必要な手続を行うことができない状況である旨の報告がなされた。

終了報告提出状況（資料8-2抜粋）

		全件	未提出	提出済	期間延長
期限超え	2026年3月分	513	2	291	220
3ヶ月経過	4月分	19	1	10	8
2ヶ月経過	5月分	19	2	13	4
1ヶ月経過	6月分	38	8	19	11
提出月	7月分	23	10	8	5
1ヶ月前	8月分	20	13	7	0
2ヶ月前	9月分	36	31	5	0

6) 不適切事案に関する意見聴取について

資料9について事務局より説明がなされた。

- 研究課題名：特発性大腿骨頭壊死症（ONFH）患者の就労に影響を及ぼす要因の検討
研究代表者：山口大学大学院医学系研究科整形外科学 教授 坂井 孝司
研究責任者：昭和医科大学病院整形外科 准教授 吉川 泰司

本委員会においては、本事案は不適合に該当するとの判断になった旨を研究機関の長である上條学長に報告することとなった。

7) 不適合事案に関するその後の対応について

本学が研究代表機関となる以下の研究で、共同研究機関である三重大学医学部附属病院で発生した不適合事案の報告がなされた。

- 承認番号：G220-N（昭和医科大学承認番号）
研究代表者：医学部小児科学講座小児内科学部門 教授（員外） 加藤 光広
研究課題名：脳形成障害の原因解明と治療法開発
- 承認番号：G219-N（昭和医科大学承認番号）
研究代表者：医学部小児科学講座小児内科学部門 教授（員外） 加藤 光広
研究課題名：てんかん症候群の原因解明と治療法開発

三重大学医学部附属病院の倫理審査委員会での審議の結果、本研究の継続および再同意取得について了承されたことが報告された。「脳形成障害の原因解明と治療法開発」については対象となる症例がないこと

から不適合の程度は重大ではないと判断された。「てんかん症候群の原因解明と治療法開発」については三重大学での研究実施許可がない状態で患者から同意を取得し、検体を院外（昭和医科大学）に送付していたことから「不適合の程度が重大」と判断され、厚生労働省への報告を進めることになったことが報告された。

次回開催について

2026 年 8 月 27 日（木）17 時 00 分～

議事録作成者：統括研究推進センター事務室研究推進・臨床研究支援課
本橋 千夏